

H	デザイン論 4							年度	2025
英語科目名	Design theory 4							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	内田祐生			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ディレクター、 デザイナー
【科目の目的】 この授業では、デザインに関連した職種に就く人たち、または一社会人として、どのように知的財産権と向き合うか、その中でも特にビジネスを前提とした著作権の知識を学んでいく。									
【科目の概要】 著作権など法律が定められている内容について、理解し、必要な事柄の調べ方の技術を身につけて、自身の創作・デザイン活動に役立てることができるようになることが目標である。著作権検定ベーシックを受験することで自分の理解力を確認する。									
【到達目標】 著作権など法律が定められている内容について、理解し、必要な事柄の調べ方の技術を身につけて、自身の創作・デザイン活動に役立てることができるようになることが目標である。著作権検定ベーシックを受験することで自分の理解力を確認する。 目標A：様々な著作物に法的な権利があることを理解する 目標B：知的財産権と著作権法の仕組みと内容を理解する 目標C：ビジネス著作権検定ベーシック合格相当の詳細な知識レベルを理解する									
【授業の注意点】 必要な資料はその都度用意するが、聴講内容をしっかりと記録すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は本試験を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	様々な著作物に法的な権利があることを深く理解して遵守できる		様々な著作物に法的な権利があることを理解している		様々な著作物に法的な権利があることを理解できない				
到達目標 B	知的財産権と著作権法の仕組みと内容を理解し自分の言葉で述べることができる		知的財産権と著作権法の仕組みと内容を理解している		知的財産権と著作権法の仕組みと内容を理解できない				
到達目標 C	ビジネス著作権検定ベーシックより上位の等級に相当する詳細な知識レベルを理解している		ビジネス著作権検定ベーシック合格相当の詳細な知識レベルを理解している		ビジネス著作権検定ベーシック合格には至らない様な知識しかない				

【教科書】 ビジネス著作権検定公式テキスト							
【参考資料】 講師の作成した参考資料							
【成績の評価方法・評価基準】 ビジネス著作権検定対策として模擬試験を実施し、その得点により評価基準とする							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		デザイン論 4				年度	2025
英語表記		Design theory 4				学期	2
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	知的財産権と著作権法の理解 (1)	著作権とは何か	1	身近な著作権	身近にある著作権について理解している	1	
			2	著作権とは	著作権とはなにか簡単に説明できる		
2	知的財産権と著作権法の理解 (2)	著作者人格権	1	著作者人格権の目的	著作者人格権の目的を理解している	1	
			2	著作者人格権の各支分権	著作者人格権の各支分権を知っている		
3	知的財産権と著作権法の理解 (3)	著作権（財産権）	1	著作権（財産権）の目的	著作権（財産権）の目的を理解している	1	
			2	著作権（財産権）の各支分権	著作権（財産権）の各支分権を知っている		
4	知的財産権と著作権法の理解 (4)	保護期間／譲渡／利用許諾	1	保護期間	保護期間を把握している	1	
			2	譲渡	譲渡のポイントを理解している		
			3	利用許諾	利用許諾に必要なことを理解している		
5	知的財産権と著作権法の理解 (5)	権利制限規定／著作隣接権	1	権利制限規定	権利制限規定の各規程を知っている	1	
			2	著作隣接権	著作隣接権の各支分権を知っている		
6	知的財産権と著作権法の理解 (6)	著作権侵害／知的財産権	1	著作権侵害	著作権侵害のポイントを理解している	1	
			2	知的財産権	知的財産権が何か理解している		
7	ビジネス著作権検定対策模擬試験	評価試験	1	模擬試験の実施	模擬試験の実施	2	
8	ビジネス著作権検定対策模擬試験の解説	検定試験対策	1	模擬試験の解説	模擬試験の解説	2	
9							
10							
11							

12							
13							
14							
15							

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等